



2024年度 総合子ども学研究所事業報告

現代子ども学公開講座

現代子ども学公開講座を9月23日（月・祝）に開催しました。絵本図書館ネットワーク主催の「絵本でSDGsミーティング」に協力し、「もったいないあいばあさん」で知られる絵本作家の真珠まり子氏をお迎えし、絵本の誕生秘話などを話していただきました。また、講演の前のシンポジウムには本学の学生もシンポジストとして参加。本学の学生のSDGsに対する認識について発表しました。



卒業生との保育共同研究会

8月24日（土）、第5回卒業生対象の保育共同研究会を開催しました。保育現場で活躍されている2名の卒業生に講話をしていただいた後、参加者によるグループディスカッションを行いました。



1. 「『気になる子ども』への個別的ー全体的アプローチ」
千成幼稚園 理事長 安川 裕樹氏
2. 「『気になる子ども』との関わりによる子育て支援」
こどもの森星川こども園 主任 細井 このみ氏

学生と教員による子育て支援事業

大学の資源を活用して、地域の親子が少しでも居心地のよい場を作れないか…というコンセプトのもと、「親子であそぶ ふれあいあそび&ワークショップ」を始めました。11月27日（水）～12月18日（水）の毎週水曜日にブラッシュアップゼミ生と教員が保育実習室にて連続で「クリスマス飾りを作ろう・毛糸であそぼう」「身近な素材を使ったワークショップ・パネルシアターとふれあいあそび1・2」「絵本のワークショップ」を行いました。



本学教員の研究成果

毎年、総合子ども学研究所事業、および教員の研究成果を「総合子ども学研究所 年報」にて発表しています。



<https://www.chibakeiai.ac.jp/education/kodomogaku/>

高大連携・高校への出前授業



11月8日（金）には新たに市川南高等学校と連携協定を締結しました。これにより保育コースの設置校4校全てと連携し、合計18校と教育協定を締結するにいたりました。連携の主な内容は、出前講座や本学での授業体験、高校生セミナー等の保育講座、学校運営協議会等の委員としての派遣、職員研修への講師派遣などです。

11月8日（金）には新たに市川南高等学校と連携協定を締結しました。これにより保育コースの設置校4校全てと連携し、合計18校と教育協定を締結するにいたりました。連携の主な内容は、出前講座や本学での授業体験、高校生セミナー等の保育講座、学校運営協議会等の委員としての派遣、職員研修への講師派遣などです。

研究発表会

10月9日（土）、敬愛フェスティバルにおいて、学生の研究、ゼミや授業の様子についてポスター発表を行いました。同時に親子対象のワークショップも行いました。

2025年度 総合子ども学研究所主催の事業予定

詳細は決定次第、本学HPにてご案内します。

- 現代子ども学公開講座
2025年11月24日（月・祝）午後
井桁容子先生（保育 SoW ラボ代表・非営利団体コドモノミカタ代表理事）他による講座を開催予定
- 卒業生対象絵本講座・絵本専門士認定試験受験対策講座
2025年7月26日（土）開催予定
- 本学教員研究発表および卒業生保育者のしゃべり場
2025年10月18日（土）、19日（日）のいずれか
敬愛フェスティバルにて開催予定
- 学生と教員による子育て支援事業
「親子であそぶ ふれあいあそび&ワークショップ」
2025年10月～12月の水曜日 不定期・開催予定
11:00～12:00
- 保育士に「なるには！体験」
2025年7月15日（火）9:30～開催予定
千葉市×敬短連携プロジェクトの一環として、系列学校である千葉敬愛高等学校、敬愛学園高校との高大連携企画が始まります。体験先となる千葉市公立保育所には、温かいお力添えをいただいています。

敬愛短期大学

総合子ども学研究所 ニュースレター Vol. 13



学長メッセージ

2025年度の短期大学 ～学園創立100周年に向けて～

敬愛大学・短期大学
学長 中山 幸夫



学園創立100周年事業として竣工された稲毛キャンパス新教育棟に短大が移転し、早くも1年が経ちました。移転以降、大学生と短大生の共同企画による敬愛フェスティバルや大学、短大同時開催のオープンキャンパスなども行われ、稲毛キャンパスは若者たちの活気溢れる学び舎となっています。

本学は学園創立から四半世紀後の1950（昭和25）年に設立されました。第二次大戦後の学制改革の中で誕生した、わが国で最も古い歴史と伝統をもつ短期大学の一つで、初等教育及び幼児教育の人材養成で社会に貢献し、『教育と保育の敬愛』という評価を頂いてきました。かつて短大に設置されていた初等教育コース（小学校教員養成課程）は、系列の敬愛大学教育学部に、国際教養学科は敬愛大学国際学部、そして法経科は敬愛大学経済学部はその歴史と伝統が引き継がれ、「敬天愛人」の建学の精神を拠り所とした教育活動が日々、絶えることなく行われています。

来年はいよいよ学園創立100周年を迎えることとなりますが、その先の時代も視野に入れた学園ビジョン、短大ビジョンとともに、地域社会とともに歩み、社会において今後も必要とされる教育機関として発展できるよう取り組みをすすめていく所存です。

総合子ども学研究所は、子ども学の観点から地域貢献を実践しながら研究をすすめる短期大学独自の研究所として、キャンパス移転後も研究活動を継続しています。2025年度の研究テーマは「子どもと子育て支援」です。昨年度より学生とともに本学の保育実習室で行う「子育て支援事業」も始めました。1Fの「えほんのもり」には地域の保護者、お子様の姿も見られるようになりました。今秋には、乳幼児教育実践研究家として多方面で活躍されている井桁容子先生（保育 SoW ラボ代表・非営利団体コドモノミカタ代表理事）を招聘しての「現代子ども学公開講座」も予定しています。

地域に根ざした保育者養成を行う短期大学の研究所として、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。引き続き、皆様の一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



子育て支援事業

敬天愛人

本学は「敬天愛人」を建学の精神として掲げる全国でただひとつの学園。教育者にふさわしい人間性の陶冶を目指しています。





講師紹介

2025年度 敬愛短期大学の講座案内



副学長 吉村真理子（教授）
発達心理学 / 教育相談

保育者には、子どもたちが自分の思いに気づき伝え合う体験を見守り支えていくことや、保護者の子育てを応援する役割も求められています。保育に興味を持っていたいただいた皆さんと、体験型の学び合いをしたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 出会いのエクササイズ
- ◆ 絵本のなぞとき
- ◆ どのような子育て
- ◆ 人の話の聴き方
- ◆ 子どもの育ちと絵本



大野 雄子（教授）
学校教育臨床

創造力を豊かにするには、五感を通して経験や想像力、フロー体験を大切にすること。まずは皆さんから心を耕してみよう。



このような講座を実施します

- ◆ 手袋人形の制作とあそび
- ◆ 子育て相談
- ◆ 乳幼児の発達心理
- ◆ ファンタジーとユング心理学
- ◆ 五感と創造性
- ◆ MBTI® グループ体験検査代有料



新田 司（教授）
教育学 / 児童虐待

教育とは何か、家族とは何か、一緒に考えていきたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 教育保育全般
- ◆ 家族のあり方
- ◆ 児童虐待
- ◆ 自己理解



清水 一巳（教授）
体育学 / スポーツ社会学

からだ一つで楽しめる遊びや身体が拡がる体験について考えていきます。



このような講座を実施します

- ◆ 運動あそび
- ◆ パラスポーツ
- ◆ 自然あそび
- ◆ レクリエーションスポーツ



齋藤 めぐみ（教授）
保育 / 人間科学

元幼稚園教諭の経験を生かした保育、保育者についてや、絵本、子どもの健康づくりについてお話ししたいと思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 遊びの大切さ
- ◆ 絵本
- ◆ 健康づくり冊子作成



神永 直美（特任教授）
幼児教育学

幼児期の教育の基本となる環境を通して行う教育、子ども中心の保育について、様々な事例や動画をもとに考えていきます。



このような講座を実施します

- ◆ 幼児教育
- ◆ 園内研修
- ◆ 保育者研修
- ◆ 子育て支援



久保木 健夫（准教授）
美術教育 / 絵本 / 絵画（油画）

幼児教育・保育に基づく造形表現と絵本などの環境について考えます。



このような講座を実施します

- ◆ 幼児教育
- ◆ 保育と絵本等の環境と造形表現



阿部 孝志（准教授）
社会福祉論 / 社会学

社会福祉を必要とする児童などについて、様々な観点から考えられる支援をお伝えします。



このような講座を実施します

- ◆ 社会福祉について
- ◆ 現代社会と児童福祉について



藤川 志つ子（准教授）
臨床心理学 / 特別支援教育 / 乳幼児発達心理学

公立保育園での経験と心理士としての経験を活かして実践的な講座を行います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 子育て支援
- ◆ 特別支援教育、インクルーシブ保育
- ◆ 園内研修
- ◆ 乳幼児の環境



池田 純子（准教授）
乳児保育 / 乳幼児の表現

現場での保育経験をもとに、大人も子どもも楽しいと思える保育を考えています。一緒に学べる講座にしていきたい思います。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 子どもと造形表現
- ◆ 乳児保育



酒井 基宏（専任講師）
保育学 / 児童文化

約 20 年の保育経験とパネルシアター作家の経験から、保育者の専門性を一緒に高めてまいりましょう。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 子育て支援
- ◆ パネルシアター（児童文化）



小熊 真弓（特任講師）
保育学

幼稚園、保育所、こども園での保育経験をもち、子どもの主体性を大切にしたい保育についてお話しします。



このような講座を実施します

- ◆ 保育・保育者
- ◆ 子育て支援
- ◆ 園内研修



二見 美千代（特任講師）
音楽表現 / 幼児教育 / 音楽教育学

音楽を表現する楽しさや、音楽を通して子どもとの関わり方について、実践を交えながら行います。



このような講座を実施します

- ◆ リトミック
- ◆ 弾き歌い
- ◆ 音楽遊び



出前講座の活用依頼方法

教育・保育の人材を養成する短大として地域と共に歩んできた敬愛短期大学では、これまで地域の文化活動、子育て支援、学校教育支援の一環として、出前講座、研修会への講師派遣を行ってきました。近年は高等学校の「探究学習」への支援などの依頼も増えており、心理学、幼児教育、保育の分野はもとより、教職員に対する研修会などのご要望にお応えできる分野が多くあります。幼児から高齢者まで幅広い活動の支援、小中学校のキャリア教育、職業体験学習にも活用していただきたく、本学の専任教員を紹介いたします。

詳しい内容や日程に関して、下記担当までお気軽にご相談ください。または、QR コードより出前講座・講師派遣依頼書をダウンロードして担当宛にお送りください。



問い合わせ先：

敬愛大学・敬愛短期大学 地域連携センター
担当：藤森 孝幸
T E L：043-251-6363
F A X：043-251-6407
メール：kodomogaku@u-keiai.ac.jp



本研究所は、「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的として設置されました。

※製作物協力：大野雄子教授

敬愛短期大学 総合子ども学研究所 ニュースレター・Vol. 13

